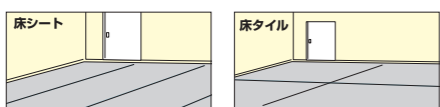


# ボロンの施工方法とメンテナンス

## 施工について

### 1. 下地の点検 ① 平滑さ ② 乾燥 ③ 強度 ④ 汚れ を点検します。



### 2. 割り付け・墨出し

●施工現場を実測し、割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。

### 3. 材料保管

●材料保管の善し悪しによって仕上がり状態が左右されます。ビニル系床材は温度による影響を受けやすいので、特に冬季の保管管理は重要です。

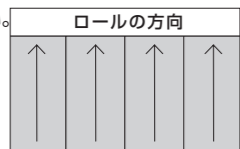
- ①乾燥した平坦な室内に保管し、直射日光は避けてください。
- ②室内温度10～25℃、湿度75%以下での保管が最適です。
- ③端部の発泡は、はずさないでください。
- ④床シートの耳の部分がつぶれたり、変形しないように注意してください。

### 4. 材料確認

●品番・ロット番号を確認し、同一場所に他のロットのものが混在しないようにしてください。

### 5. 養生 (長尺)

- ロールが同一方向にあることを確認します。
- 5～10cmの余分を計算に入れて、長尺シートを粗切りします。
- この状態で、10℃以上に保たれた室内に長尺シートを少なくとも24時間仮置きして、室内温度になじませ、巻きグセ、伸縮などを取り除いてください。



### 5. 養生 (500角)

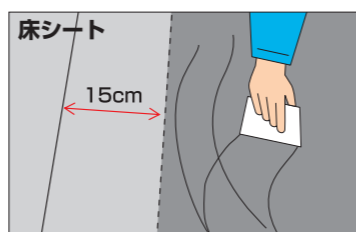
- 10℃以上に保たれた室内の平滑な場所でタイルを箱から取り出して、表面を上にして1～2日程度積み重ね、クセを取り除いてください。特に冬季はクセが取れにくいので、必ず箱から出してください。



⚠ ビニル系床材は温度による影響を受けやすいので、特に冬季の養生管理は重要です。養生を十分に行わずに施工しますと、施工後温度差による材料の伸びによって突き上げなどを起こします。

### 6. 接着剤塗布

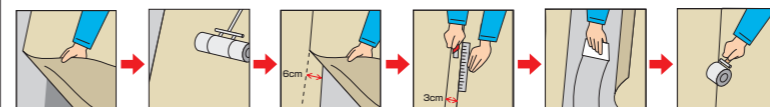
- 長尺シート・500角タイルは墨から15cmずつの幅を残して接着剤を塗布します。長尺シートを重ね切りした後、その部分に接着剤を塗布し圧着します。
- 接着剤はアドヴァンの専用接着剤を推奨します。
- 使用前に接着剤の容器に記載されている事項をご参照ください。
- 木下地など通気性の少ない下地は接着剤の溶剤が抜けにくいので、残留溶剤による塩ビタイルの伸びを引き起こし、施工後の突き上げが発生させることがあります。その場合は、接着剤の塗布量を標準より少なめにし、オープンタイムを長めにとってください。
- アドヴァン専用接着剤以外の接着剤をご使用の際のクレーム等はお受けできません。
- クッションフロアーなどの既存床の上に重ねて施工しないでください。
- 施工は専門業者にご依頼ください。



	一般工法	耐水工法
	 アクリルアドボン (AB-300A) アクリル樹脂系 エマulsionタイプ 15kg/缶 ¥7,700/缶	 ウレタンアドボン (AB-500U) ウレタン樹脂系 両面タイプ (1面硬化) 15kg ¥8,300/缶
ボロンシート	○	○
ボロンタイル	○	○

⚠ モルタル、木質下地へは一般工法もしくは耐水工法にて施工してください。

### 7. 貼り付け・圧着 (長尺)

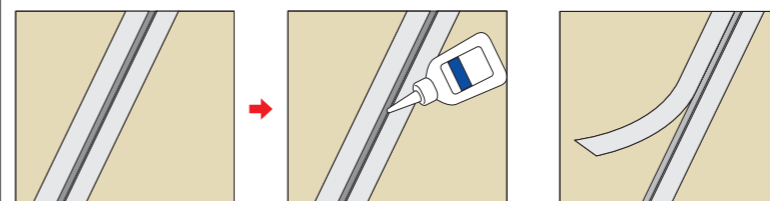


- ①墨に沿って貼り始め、空気を押し出しながら貼り付けます。
- ②45kg以上のローラーなどで中央から縦ぎ目に向かって残った空気を押し出すように圧着します。
- ③縦ぎ目は6cm重ねます。  
注) ロス分は材料代に含まれておりません。※ボロンローラーの柄はつながらないことがあります。
- ④端から3cmのところを定規をあて、重ね切りします。
- ⑤重ね切りした部分の床シートを持ち上げ、下地に接着剤を塗布し、オープンタイムをとってから貼り付けます。
- ⑥ハンドローラー等で入念に圧着してください。

⚠ 圧着不足は接着不良につながり、後日突き上げ、剥離などを引き起こす原因になります。

### 8. シーム処理 (長尺)

●床シートの継ぎ目をシーム処理してください。



- ①マスキングテープのジョイント部分を2mm程度あけて、貼ります。
- ②ジョイント部分にシーム剤を塗布します。
- ③塗布後、マスキングテープをシーム剤が乾燥する前にはがします。

推奨シーム材：ヤヨイ化学工業(株)「シーム液タイプC」

⚠ 施工後のワックスがけは不要です。

## メンテナンス

### 広い面積の場合

- ①掃除機などでホコリや塵を除去します。
- ②エクストラクター(濯ぎ洗い機)、もしくはスクラパー(自動床洗浄機)で清掃します。いずれも業務用清掃機です。
  - ・エクストラクターは温水にて清掃してください。
  - ・スクラパーは柔らかいブラシを低圧にて使用してください。
  - ・必ずきれいな温水を使用してください。
  - ・清掃機器は床の縦方向に流してください。
  - ・温水のみの清掃をお勧めします。どうしても洗剤を使用する場合は、中性洗剤を使ってください。
  - ・洗剤を使った場合必ずその後十分に水洗いして、洗剤成分が床に残らないようにしてください。洗剤成分が床に残ると、汚れが付きやすくなります。



### 狭い面積の場合

- ①掃除機などでホコリや塵を除去します。
- ②モップがけするか、デッキブラシで軽くこする、もしくは小型のスクラパー(自動床洗浄機)で清掃します。
  - ・モップは必ず固く絞ってください。
  - ・必ずきれいな温水を使用してください。
  - ・温水のみの清掃をお勧めします。どうしても洗剤を使用する場合は、中性洗剤を使ってください。
  - ・洗剤を使った場合は、必ずその後きれいな水でモップがけして、洗剤成分が床に残らないようにしてください。洗剤成分が床に残ると、汚れが付きやすくなります。

### 【床材を長持ちさせるために】

- 外部からの土や砂の持ち込みは、床材表面を傷つけて摩耗を早める原因になります。出入口にはマット類などの設置が必要です。
- ハイヒールや家具など局部荷重を受けると、圧痕が残る可能性がありますので注意してください。
- 傘などからの雨水は、目地や継目から水分が透過し、剥離の原因となります。出入口にマット類、傘立て等を用意してください。雨水が持ち込まれた時は、直ちに除去するようにしてください。
- タイヤのゴムや椅子のキャスターのゴムなどによって、ビニル床材の表面が変色することがありますので、間に保護板を入れてください。

### 品質特性

- 寸法安定性**  
規格：EN 434 (ヨーロッパ規格)  
試験方法：試験体を80℃、6時間加熱し、翌日常温に放置。加熱前との寸法の差を測定する。  
試験結果：ロール、タイル共に0.25%未満(基準は0.4%未満)
- 耐摩耗性**  
規格：EN 985 (ヨーロッパ規格)  
試験方法：繊維板の上に試験体を乗せ、その上をナイロン製のキャスターが3つ装着している磨耗試験機を25,000回転させ、床材表面の変化を測定する。  
試験結果：変化なし
- 耐荷重性**  
規格：EN 433 (ヨーロッパ規格)  
試験方法：500N/cm<sup>2</sup>の荷重を2.5時間乗せ、試験前と後の厚みの差を測定する。  
試験結果：ロール、タイル共に0.2mm未満
- 耐衝撃音遮断性**  
規格：ISO 140-8  
試験方法：コンクリートスラブの上に床材を施工した時(A)と施工しない時(B)の階下で測定した衝撃音レベルの差(ΔLw)を求める。  
試験結果：アルティサン、ボタニック ΔLw = 13dB、ナウ、エスニック及びBK (サイザル) ΔLw = 15dB、グラフィック、及びエイト ΔLw = 12dB
- 人体帯電**  
規格：ISO 1815 (国際規格)  
試験方法：試験体を施工した部屋に人間を歩行させ、その後の人体と地面との電圧を測定し、その差を測る。  
試験結果：ロール、タイル共に2Kv未満(基準は2Kv未満)